

予算常任委員会 ◎松枝正浩 厚地 覺 ○前島広紀 植山利博 山口仁美 下深迫孝二 川窪幸治 前川原正人 愛甲信雄 徳田修和 ◎委員長 ○副委員長

令和元年度 霧島市一般会計補正予算(第7号)

国体に向けた施設改修や教職員の事務負担軽減等に係る予算を増額

4億809万5,000円を追加 総額632億2,689万5,000円に

- 体育施設維持管理事業 (牧園アリーナ、溝辺体育館、国分運動公園) 3億700万円

国民体育大会施設としての改修等を行うための工事費など

問 牧園アリーナの工事内容は何か。

答 屋根の防水や外壁のひび割れ改修で、屋根の面積は、5,373㎡である。



国体会場の牧園アリーナ

- 社会体育総務管理事務事業 1,155万円

東京2020オリンピック聖火リレー運営を円滑に行うための地元自治体負担金

問 東京2020オリンピック聖火リレー鹿児島県実行委員会への負担金額とその内容は何か。

答 本市における全体的な経費は、約3,467万円で、その3分の1の1,155万8,000円である。内容は、警備員や事前告知のための看板等である。

- 小学校教師用教科書等配布事務 4,526万円

教職員の事務負担軽減や働き方改革を推進するための環境整備に要する費用

問 小学校教師用教科書事務の内容はどのようなものか。

答 国語、算数、理科について、デジタル教科書を導入する。

	単価(1校あたり)	対象学年	学校数
国語	7万2,000円	1~6年生	35校
算数	7万円	1~6年生	
理科	25万円	3~6年生セット	



その他の会計補正予算

令和元年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

平成30年度 決算に伴う国への償還金に要する経費

124万2,000円を追加

決算特別委員会 ◎新橋 実 平原志保 ○仮屋国治 木野田誠 山田龍治 松元 深 久保史睦 池田綱雄 宮田竜二 蔵原 勇 鈴木てるみ 宮内 博 ◎委員長 ○副委員長

平成30年度 決算

一般会計、特別会計、企業会計を慎重に審査

一般会計

問 令和3年度以降は、普通交付税の合併特例措置がなくなる。大幅な財源の減に対して、大胆な財政改革を考えているのか。

答 普通交付税の合併特例措置がなくなることを見据えた上で、昨年度、霧島市経営健全化計画の第3次を策定した。それに基づいて、財政運営をしていく必要がある。当然、歳入が減るため、それに見合う歳出構造にする必要がある。予算額自体も全体的に減額していかざるを得ない状況にある。新事業はスクラップアンドビルドで、既存事業については本当に必要なかどうかというのを踏まえた上で、予算の見直しを積極的に行うよう、予算編成方針を掲げている。また、見直しだけでなく、事業の廃止も考えていかなければならない。

問 現在の牧園総合支所庁舎は、2000万円以上のランニングコストが掛かると言われているが、平成30年度の維持管理費はいくらか。また、跡地の活用策の方向性は定まったのか。

答 庁舎維持費まで含めると2124万7479円である。跡地の活用については、立地している場所が観光地のため、観光振興に寄与するような事業も含め、検討しているところである。

者数22人である。

国民健康保険税 特別会計

65歳以上の占める構成割合は増加傾向、加入世帯は減少傾向にある。平成30年度の資格の状況は、前年度と比較して、年度平均で362世帯減の1万6913世帯、被保険者数873人減の2万6705人となっていると説明。

問 県から示されたとおり、2年連続で税率を引き上げた。今後も、県から示されたとおりにするのか。市として独自の考え方を、県に申し出る考えがあるのか。

答 今後は、国・県の状況を見ながら、1月に示される標準保険税率を見ながら検討する。

